

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

## ● 若手会員による情報交流会を開催しました

9月13日（金）にホテルグランヴェール岐山にて「若手会員による情報交流会（以下、若手の会）」を開催しました。若手の会は40歳以下の若手会員による交流を深めることで会員間の連携強化や異業種との情報交流を目的として、不定期で開催しています。

はじめに、全体で各参加者から自己紹介、自身の業務内容や最近の出来事などを自由にお話いただきました。その後は、本年6月にドイツにて開催された「KWF 林業機械展2024」に参加した会員より、視察報告を行いました。世界の最先端の林業機械・技術やドイツの風土、環境や林業に対する考え方など普段知ることのできないお話を聞くことができました。

グループごとの情報交流会では、ドイツの視察報告を受けて、活発に意見の交換を行いました。また、仕事上で困っていること、気になっていること、土日の過ごし方や趣味の話まで公私関係なく交流しました。仕事の話では、シカやクマの出没頻度が増えていることや労働安全教育の話など、プライベートのことでは趣味の釣りや育児などの話を聞くことができました。

その後の懇親会では、さらに会員間同士で打ち解け合い、より親密な関係性を築くことができました。参加者からは「近い世代の方との横の繋がりができた」、「相談しやすい関係性になれた」など意見をいただきました。

コンソーシアムは、少しでも林業・木材関連産業の横の繋がりを増やし、より連携した産業になることに貢献したいと思います。引き続き若手会員による情報交流会が開催できるよう進めていきます。



発起人（(有)根尾開発 小澤代表取締役）あいさつ



機会展にて展示されていたリモコン式くさび



意見交流会の様子

## ● 森林獣害対策（ニホンジカの調査&捕獲入門）研修を開催しました

10月12日（土）、13日（日）、本巣市根尾地域内にて「森林獣害対策（ニホンジカの調査&捕獲入門）研修」を開催しました。

ニホンジカ（以下、シカ）を要因とした森林の被害は依然、深刻な状況です。その被害は防護柵や単木保護資材等の防除対策のみでは防ぐことが難しく感じている方が多いかと思えます。

そこで、今回はより分かりやすく害獣（今回はシカ）の生息を確認することができるサーマルカメラ付きドローンによる調査と、初心者でもシカの捕獲につながる小林式誘引捕獲法に関する研修を行いました。

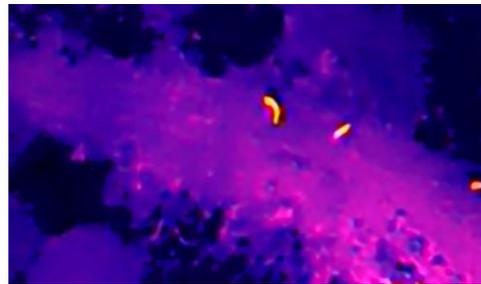
（株）ROBOZ様にご協力いただき、サーマルカメラを装備したドローン（Matric 30, DJI社製）による調査を行いました。サーマルカメラによる撮影では、シカは周辺より温度が高いため、通常のカメラによる撮影よりも比較的簡単に発見することができました。

また、森林文化アカデミー 新津裕准教授を講師として迎え、わなの設置方法である小林式誘引捕獲法について学びました。設置の際の注意点や設置場所など捕獲に必要な知識をご教授いただきました。設置したわなにシカが掛かることはありませんでしたが、今回の研修ではシカによるフィールドサイン（採餌跡など）を肌で感じることができました。参加者からは、「人目を気にしないシカの行動をじっくりと観察することができた」、「カメラが鮮明で樹種同定ができそう」、「ドローン技術の進歩と性能の高さに驚きました」など、さらにドローン活用の応用に対する声がありました。また、森林獣害に対して狩猟の必要性や現在の森林獣害対策の問題点などの意見交換を行いました。

今後も林業における獣害対策に関する研修、勉強会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。



ドローンで撮影された2頭のシカ



サーマルカメラで撮影された2頭のシカ



小林式誘引捕獲法の設置の説明

---

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

---

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: [gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp](mailto:gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp)